

<平成22年度>

新1年生の就学に関するアンケート結果（1）

JDSが毎年実施しているこの調査は、今年で17回目。前年4月に入学したダウン症があるお子さんについて、就学時の状況と1年間の経験、現時点での感想やご意見をお聞きしています。その結果を集計し、就学の時期を迎えるお子さんとそのご家族の参考になるデータを提供するとともに、現状をできるだけ正確に把握してJDSとして社会にアピールすることができればと思います。特別支援教育の完全実施から4年が経過し、その動向も注視しています。今月号から数回にわたってご報告します。

調査票は、JDS会員で対象となるご家族宛てに、2011年5月に192通発送し、返送された117通（回収率61%）について集計・分析を行いました。117通の内訳は、通常学級在籍16、特別支援学級在籍70、特別支援学校在籍31となっています。

以下、「**学校の選択について**」「**入学当時の様子について**」「**学校生活について**」の3項目に分けて集計結果をご報告します。

[注：以下、表中では四捨五入のため合計が100%にならない場合があります。全問回答されていない場合もありますので、回答数と総数が必ずしも同じではない場合があります。]

【地域別回答数】

北海道	1	東京	28	山口	1
青森	5	新潟	3	徳島	1
岩手	1	富山	1	香川	4
秋田	1	山梨	4	愛媛	2
山形	1	長野	1	高知	1
宮城	6	岐阜	1	福岡	5
福島	2	静岡	2	佐賀	1
茨城	1	大阪	4	熊本	4
栃木	7	和歌山	1	宮崎	1
群馬	3	鳥取	1	沖縄	1
埼玉	8	岡山	4	合計	117
千葉	2	広島	8		

全国回答に対し、関東地方からの回答数が42%と一番高く、以下、中国・四国地方が19%、東北地方が14%、中部地方と九州・沖縄地方がともに10%、近畿地方が4%、北海道地方が1%でした。発送数に比例すると思われませんが、昨年度と比べると、近畿地方の回答が減ったこと、中部地方、九州・沖縄地方の回答が増えたことが目につきました。また、中には東日本大震災で被災された方もいらっしゃると思われませんが、東北地方の回答が昨年より高くなっています。宮城県の方で、避難先から送ってくださった方もいらっしゃいました。大変な中でご協力いただき、ありがとうございました。

今年度の回収率も61%と昨年度同様に高く、みなさんの意識の高さが表れています。

【就学先】

通常学級 16人(14%)	特別支援学級 70人(60%)	特別支援学校 31人(26%)
------------------	--------------------	--------------------

	全 体	通常学級	特別支援学級	特別支援学校
全 体	117	16 (14%)	70 (60%)	31 (26%)
男	65	7	37	21
女	52	9	33	10

就学先種類別の割合を昨年度と比較すると、通常学級は15% → 14%、特別支援学級は66% → 60%、特別支援学校は19% → 26%となっています。通常学級、特別支援学級が減り、特別支援学校が増えています。

以前、つくば市の特別支援学級に在籍している方から相談を受けたことがありますが、ダウン症児は特別支援学校を勧められるそうです。そういう地域が増えているのでしょうか。

【一クラスの平均人数】

	通常学級	特別支援学級	特別支援学校
平均生徒数	28.1	7.7	5.2
親学級の平均生徒数		28.9	
平均担任数	1	1.6	2.5
親学級の平均担任数		1.2	
平均介助員・補助員数	0.8	1.8	0.7

*親学級

特別支援学級在籍者で親学級に関する回答がなかったケースが10件（青森県1件、宮城県1件、埼玉県2件、東京都5件、鳥取県1件）あり、昨年より4件大きく上回りました。しかし、通常学級との交流についての設問では、「ほとんど毎日、算数と国語以外はすべて親学級で過ごしている」との回答が30件あり、例年にはない大きな変化が見られました。

*一クラスの平均生徒数

通常学級は18名（宮城県）～34名（広島県）。特別支援学級は1名（岐阜県・熊本県）、2名（宮城県・福島県・新潟県・愛媛県・広島県・熊本県）～20名（2件：いずれも東京都）、26名（東京都）。特別支援学校は2名（東京都）～8名（広島県）となっています。

*一クラスの平均担任数および介助員・補助員数

通常学級の介助員・補助員数に関しては、在籍者16名中8名が0という回答でした。残りの8名は、何らかの形で介助が付いていますが、毎日ではなかったり、学年で1名（静岡県）、学校全体で2名～3名（埼玉県）という回答がありました。

特別支援学級では、1名～6名の担任が付いています。介助員・補助員は最も多いところで6名（東京都）付いています。

特別支援学校の担任の数は、1名（東京都）～7名（広島県）で、介助員・補助員の付いているところがほとんどない中、この広島の学校は2名付いていました。

<次号につづく>